

平成 29 年度 国語科

教科	国語	科目	古典B	単位数	3単位	年次	2年次
使用教科書	高等学校 古典B (第一学習社)						
副教材等	新修古典文法二訂版 (京都書房) ・ 漢文必携四訂版 (桐原書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・有名な古文と漢文の文章に親しむとともに、現代にも通じる心情等を理解するために、語彙力や文法の知識をしっかりと身につけましょう。
- ・予習として必ず本文を読み、指示された語句の意味を辞書で調べておきましょう。
- ・授業を振り返って、内容や知識を定着させましょう。
- ・提出物の期限を守り、定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

古典としての古文、漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方・感じ方・考え方を深めている。	古典を読んで、内容および、思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉えている。	古典の理解に役立つため、語句の意味、用法、文の構造、文法、表記等を理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動の観察</li> <li>・記述の確認(ノート、ワークシート等)</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の確認(ノート、ワークシート等)</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記述の確認(ノート、ワークシート等)</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	説話・伝奇物語・随筆	『古今著聞集』 小式部内侍が大江山の歌の事 『竹取物語』 かぐや姫の昇天 『枕草子』 かたはらいたきもの 雪のいと高う降りたるを  有名な作品を読んで古文に親しむ。 助動詞・敬語について理解する。	○	○	○	○	a: 重要語句の意味を古語辞典で調べている。 b: 作品の構成や展開をふまえて内容を的確に捉え、作者や登場人物の行動と心情を読み取っている。 c: 本文を適切に口語訳している。 d: 基本的な文法事項、和歌の修辞技巧、敬語の意味や用法を理解している。	a: 予習ノートの点検 b、c、d: 記述の確認および定期考査
	史話・史記	『十八史略』 鼓腹撃壤 『史記』 鴻門之会 四面楚歌  少々長めの文章を読んで漢文に親しむ。	○	○	○	○	a: 中国の歴史書の特徴を知り、『史記』の文学性と司馬遷についての概要を知る。 b: 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 c: 本文を訓点に従って正しく読み書き下し文に改める。 d: 禁止・抑揚・感嘆などの句形を理解している。	
2学期	作り物語・歴史物語	『源氏物語』 光る君誕生 若紫 『大鏡』 雲林院の菩提講 花山天皇の出家  物語を読んで登場人物の行動や心情を読み味わう。	○	○	○	○	a: 重要語句の意味を古語辞典で調べている。 b: 作品の構成や展開をふまえて内容を的確に捉え、作者や登場人物の行動と心情を読み取っている。 c: 本文を適切に口語訳している。 d: 基本的な文法事項、和歌の修辞技巧、敬語の意味や用法を理解している。	a: 予習ノートの点検 b、c、d: 記述の確認および定期考査

	小説	『三国志演義』  漢文独特の誇張表現の面白さを理解する。		○	○	○	b: 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 c: 本文を訓点に従って正しく読み書き下し文に改める。 d: 疑問・二重否定・使役などの句形を理解している。	
3 学期	日記	『更級日記』 門出 源氏の五十余巻  日記文学を読んで、人間・社会・自然に対する作者の思想や感情を読み取る。	○	○	○	○	a: 重要語句の意味を古語辞典で調べている。 b: 作者の人間・社会・自然などの対する考えや感情を読み取っている。 c: 本文を適切に口語訳している。 d: 基本的な文法事項を理解している。	a: 予習ノートの点検 b、c、d: 記述の確認および定期考査
	儒家の思想	『論語』 『孟子』  中国の主要な思想である儒家の主張の概要を理解する。	○	○	○	○	a b: 古代中国の思想から現代に通じるものの見方・考え方を知る。 c: 本文を訓点に従って正しく読み書き下し文に改める。 d: 反語・限定・仮定などの句形の読みと意味とについて理解する。	

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 思考・判断・表現  
c: 技能    d: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。